

## 富川グロリアホームが実施する初任者研修事業の内訳

研修機関情報	法人情報 ホームページアドレス： <a href="http://www.gloria-home.jp">http://www.gloria-home.jp</a>	株式会社富川グロリアホーム 代表取締役 谷井和恵 研修担当役員 谷井広樹 取締役 5 名 職員 10 名
	研修機関情報	北海道日高介護研修センター 理念：地域主体、参加しやすさ、生涯教育支援 学則：ホームページ参照 研修施設： 主たる実施施設：富川グロリアホーム 北海道日高介護研修センター 主要設備：車椅子、歩行器、介護ベッド、入浴用品等
研修事業情報	研修の概要	日高町、平取町、むかわ町、新冠町、新ひだか町の住民 研修期間：3 カ月間、研修時間：面接授業 96 時間及び通信にての自宅学習、日程：別紙カリキュラム参照 定員：12 名、指導者：13 名 研修受講までの流れ：開講 14 日前に案内、主に電話にて申込、メール、FAX にての申し込みも可（e-mail：honbu@gloria-home.jp） FAX：01456-3-4005（研修担当宛と明記） 費用：一人 36,000 円 留意事項：地域の福祉従事者による講師陣、地域全体の協力の下で研修を実施
	課程責任者	課程編成責任者名：谷井広樹 課程編成責任者の略歴、資格：2000 年合資会社富川グロリアホーム設立、現在、富川グロリアホーム研修担当、医師・介護福祉士
	研修カリキュラム  (通信)  修了評価	科目別シラバス：別紙参照  科目別時間数（内、通信にて実施時間） 職務の理解 6 時間（0 時間） 介護における尊厳の保持・自立支援 9 時間（7.5 時間） 介護の基本 6 時間（3 時間） 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 9 時間（7.5 時間） 介護におけるコミュニケーション技術 6 時間（3 時間） 老化の理解 6 時間（3 時間） 認知症の理解 6 時間（3 時間）

	<p>障害の理解 3時間 (1.5時間)          こころとからだのしくみと生活支援技術 75時間 (5時間)          振り返り 4時間(0時間)</p> <p>科目別担当教官名</p> <p>土田 和子          (1)多様なサービスの理解(2)介護職の仕事の内容や働く現場の理解(20)家族への支援(16)家族の心理、関わり支援の理解</p> <p>谷井 広樹          (25)老化に伴う心と体の変化と日常(26)高齢者の健康(27)(介護に関わる)基礎知識の学習</p> <p>谷井 和恵          (18)医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理(17)認知症を取り巻く状況(14)障害の基礎的理解(15)障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、関わり支援等の基礎的知識(31)就業への備えと研修終了後における継続的研修</p> <p>中村 創          (19)認知症に伴う心と体の変化と日常生活(21)行動障害とは(22)自閉症の理解・自閉症の行動特性(23)行動障害が起こる背景の理解(24)行動障害を起こさないようにするための支援</p> <p>谷井 基子(5)介護職の役割、専門性と多職種との連携(9)障害者総合支援制度及びその他の制度(10)医療との連携とリハビリテーション(11)介護保険制度及びその他の制度(28)生活支援技術の講義・演習⑦移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護</p> <p>亀澤 滋俊          (7)介護における安全の確保とリスクマネジメント(8)介護職の安全</p> <p>水上 佳祐          (28)生活支援技術の講義・演習⑤快適な住環境整備と介護</p> <p>旭 直子          (12)介護におけるコミュニケーション(13)介護におけるチームのコミュニケーション(28)生活支援技術の講義・演習⑥整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護⑧食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護⑩睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護</p> <p>山ノ内 貴子(28)生活支援技術の講義・演習④生活と家事</p> <p>中村 夏江</p>
--	---

	<p>(28)生活支援技術の講義・演習⑩排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護⑫死にゆく人に関連したところとからだのしくみと終末期介護</p> <p>溝渕 千夏</p> <p>(28)生活支援技術の講義・演習⑨入浴・清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護</p> <p>室 恵理</p> <p>(3)人権と尊厳を支える介護(4)自立に向けた介護(6)介護職の職業倫理</p> <p>橋本裕美子</p> <p>(29)⑬介護過程の基礎的理解 1 及び 2 (29)⑭総合生活支援技術 1 及び 2 (30)振り返り</p> <p>科目別特徴（演習の場合は、実技内容・備品、指導体制） シラバス参照</p> <p>科目別通信・事前・事後学習とする内容及び時間 シラバス参照</p> <p>通信課程の教材 ふりがなつき[2訂] 第3版介護職員初任者研修テキスト 第1巻より第3巻まで（DVD付） 令和3年11月 一般財団法人 長寿社会開発センター</p> <p>指導体制 各教科担当者による添削指導を実施。</p> <p>指導方法 提出課題に対する添削指導実施、質問はメール、或いはFAXにて受け付け、メール及びFAXにて回答を行う。</p> <p>課題 テキストに則って、択一式並びに記述式の問題を事前に配布する。通信科目の課題提出後、該当科目の受講ができるものとする。</p> <p>修了評価の方法 最終日に筆記試験を実施し、評価C以上（60%以上の正答）をもって、修了認定を行う。</p> <p>評価者 谷井広樹</p> <p>再履修等の基準</p>
--	---

		<p>当研修事業の基準に沿って、評価D以下の方は、再履修或いは、修了試験の再実施にて修了の判定を行う。</p>
	<p>実習施設 (実習を行う場合)</p>	<p>本研修では実習は実施せず。</p>
<p>講師情報</p>	<p>名前、現職、資格等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土田和子 NPO 法人北海道日高生活者支援ネットワーク理事長 介護福祉士</li> <li>・亀沢 滋俊 門別地域包括支援センター 介護支援専門員、介護福祉士</li> <li>・水上 佳祐 門別地域包括支援センター 介護福祉士・介護支援専門員</li> <li>・山之内 貴子 合同会社ポラリス 代表社員 管理者・サービス提供責任者 介護福祉士</li> <li>・谷井 広樹 富川グロリアホーム定期巡回随時対応型訪問介護看護サービス 医師・介護福祉士</li> <li>・谷井 和恵 富川グロリアホーム定期巡回随時対応型訪問介護看護サービス 看護師、</li> <li>・中村 創 株式会社N・フィールド 北海道支店 事業管理部長 広報部 部長 看護師</li> <li>・谷井 基子 富川グロリアホーム定期巡回随時対応型訪問介護看護サービス 管理者、看護師・保健師・理学療法士</li> <li>・中村 夏江 NPO 法人富川ヒカルホーム理事長 認知症対応型共同生活介護富川ヒカルホーム 生活相談員 介護福祉士</li> <li>・溝渕 千夏 NPO 法人富川ヒカルホーム 認知症対応型共同生活介護富川ヒカルホーム管理者 介護福祉士</li> <li>・旭直子</li> </ul>	

	<p>富川グロリアホーム定期巡回随時対応型訪問介護看護サービス 看護師・保健師</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・室恵理</li> </ul> <p>富川グロリアホーム定期巡回随時対応型訪問介護看護サービス 介護福祉士</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・橋本裕美子</li> </ul> <p>富川グロリアホーム定期巡回随時対応型訪問介護看護サービス 介護福祉士</p>
実績情報	<p>研修実績：2013年6月より実施。</p> <p>2013年12月 15名研修修了</p> <p>2014年10月 28名研修修了</p> <p>2015年6月 11名研修修了</p> <p>2016年7月 9名研修修了</p> <p>2017年7月 18名研修修了</p> <p>2018年7月 10名研修修了</p> <p>2019年10月 4名研修修了</p> <p>2021年10月 10名研修修了</p>
連絡先等	<ul style="list-style-type: none"> <li>●申し込み・資料請求先</li> </ul> <p>〒055-0006 沙流郡日高町富川南4丁目2番49号 富川グロリアホーム 本部</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●法人の苦情対応者名：研修担当役員 谷井広樹</li> <li>●北海道日高介護研修センター 苦情対応：谷井広樹</li> </ul> <p>以上の連絡先</p> <p>電話番号 01456-3-4000</p> <p>メールアドレス：honbu@gloria-home.jp</p>
質を向上させるための取り組み	<p>発表実績 認知症ケア学会における発表（2例）</p>

注1 インターネット上のホームページにより情報を公開する。

2 サーバーは、法人ごと事業所ごとに自ら確保する。

3 基本ストラクチャは変更しない。

4 受講者の募集を開始する時までに公開するものとする。